



学校だより

<http://www.sumida.ed.jp/ryogokusho/>

令和8年5月29日

墨田区立両国小学校

墨田区両国4-26-6

TEL 3634-7876



“好き”の力を教育目標に ～クラブ活動の意義～

副校長 手山 晃洋

12のクラブ活動

本校では4、5、6年生の子供たちを対象に、12のクラブ活動が月1回程度、行われています。バドミントン、卓球、球技、一輪車、ダンスといった体を動かすクラブから、科学、マンガ・イラスト、ミュージック、手芸、鉄道、昔遊び、ボードゲームといった多様な興味・関心に応えるクラブまで、子供たちは「自分の好き」を起点に、生き生きと活動しています。



学習指導要領におけるクラブ活動の位置付け

学習指導要領では、クラブ活動は「特別活動」に位置付けられ、異年齢の児童が協力しながら、自主的・実践的に活動することを通して、一人一人の個性や力を伸ばす場とされています。学級や学年を越えて集まった仲間と共通の目標に向かう時間は、子供たちにとって学校生活の中でも特に楽しみで、心が解き放たれるひとときです。

クラブ活動は、小学校において、主として第4学年以上の同好の児童から構成される異年齢集団による活動である。卒業後においては、地域・社会におけるサークル活動や同好会など同好の者による自主的な活動につながる活動である。この活動では、どのクラブに参加してどのように活動するかを児童が主体的に決定し、みんなで楽しむことができる活動の実施について、児童自らが計画・運営を行う。

【小学校学習指導要領解説 特別活動編より抜粋】

教育目標とクラブ活動のつながり

校庭や体育館では、学年の違う仲間同士で声をかけ合い運動する姿や、失敗しても励まし合いながら挑戦を続ける場面が多く見られます。ここには、「進んで学ぶ子ども」として、自分から工夫し、上達しようとする姿、そして汗をかきながら粘り強く取り組む「たくましい子ども」の姿がはっきりと表れています。一方、室内のクラブでは、知識や経験を自然に伝え合ったり、相手の考えを尊重しながら活動を進めたりする姿が見られます。年齢の違いを越えて関わる中で、思いやりの言葉が交わされ、喜びを共有する様子は、まさに「心の温かい子ども」の育ちそのものです。

子供たちの将来とクラブ活動のつながり

クラブ活動は、単なる「好きなことを楽しむ時間」ではありません。活動をよりよくするために話し合い、役割を決め、時には意見の違いに向き合いながら合意を図っていく経験は、将来、子供たちが社会の一員として生きていく上で欠かせない力につながります。仲間と協力し、困難を乗り越えることそのものが大きな学びとなります。教師は、必要な助言や安全面の配慮を行いながら、子供たちの「やってみたい」「自分たちで考えたい」という思いを大切に、敢えて委ねる場面もあります。

教育目標が目に見える学校づくり

本校が目指しているのは、教育目標に掲げる三つ「進んで学ぶ子ども」「たくましい子ども」「心の温かい子ども」が、日々の学校生活の中で、すべての子供たちに“目に見える姿”として表れている学校です。学習や行事、日常の関わりを通して、その姿が着実に育まれていくことを大切にしています。クラブ活動も、その姿が自然に、そして豊かに育まれる大切な場の一つです。子供たちが仲間と共に学び、挑戦し、思いやる姿を、これからも大切に見守り、支えてまいります。

【ふれあい月間について】

6月は東京都の定める「ふれあい月間」です。本校では、いじめや不登校の未然防止、早期発見に向けたアンケート調査を行い、いじめ防止に関する授業を実施します。近年はインターネットやSNSを利用したいじめも見られます。「SNS 両小ルール」をメール配信いたしますので、ご家庭でもお子様と一緒にご一読いただきたいと思っております。

また、本校のホームページに「令和8年度学校いじめ防止基本方針」もアップロードしています。この機会にぜひ内容をご確認ください。